

技能実習生 トラブル事例集

AHR協同組合



はじめに

外国人の雇用を成功させるためには、日本の文化や考え方を一方的に押し付けるだけでなく、相手の多様性を受け入れ尊重しながらお互いが寄り添うことが大事になります。実際に私たちの感覚では考えづらいようなトラブルは多々経験してまいりましたが、一概に怒るのではなく、しっかり言い分を聞きながら対処すれば大きな問題にはなりません。私たちの事例集をご覧ください。貴社の技能実習生雇用の役に立てたら嬉しいです。

AHR協同組合

統括理事 石川直人

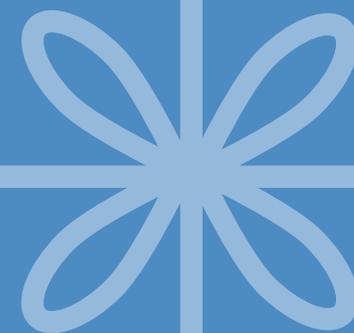
事例①

実習生の体調不良やケガ

本人または企業より連絡を受けた後、弊社通訳から本人へ連絡を行い、詳細を確認します。病院への受診が必要であれば病院への送迎等を行いサポートします。

また実習生受入の際に加入頂く、技能実習生総合保険を利用することで本人の医療費負担を実質0で行えます。

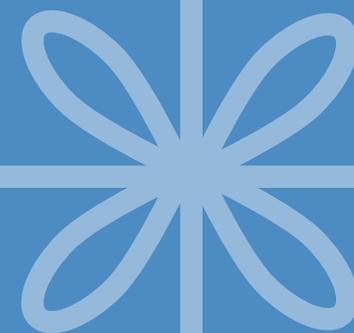
本人の生活の乱れによる場合もあるので、仕事に支障が出ないように生活面の指導も行っています。



事例②

実習生の家庭事情の相談

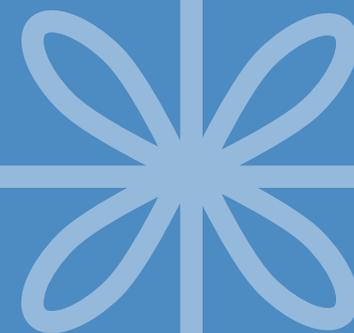
母国に住んでいる実習生の家族が病気になったり、亡くなった等の連絡を受けることもあります。本人から母国へ一時帰国の要望が出る場合もありますが、そこは企業様と相談の上対応を検討します。また本人のメンタルケアが重要ですので、企業様・組合・現地送出国機関の3者で共にサポートできる事を模索し実習生の精神的負担を軽減させる取り組みをしています。



事例③

水光熱費のムダ使い

水道光熱費は本人負担の場合と企業様負担の場合があり、いずれの場合も水道光熱費が高いとの相談を受けます。本人の使い方や自宅の設備を調査し、どういう所を気をつければ節約に繋がるかなどのアドバイスを行っています。

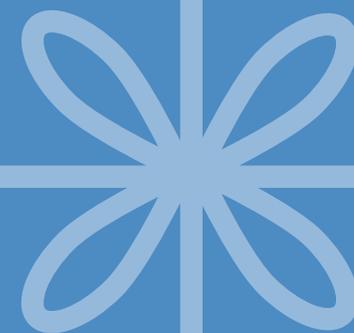


事例④

ゴミの分別トラブル

入居時に各地域のゴミ分別ルールについて、通訳を通じて説明を行います。しかしながら生活の中でミスをしてしまい、近隣クレームになる場合があります。

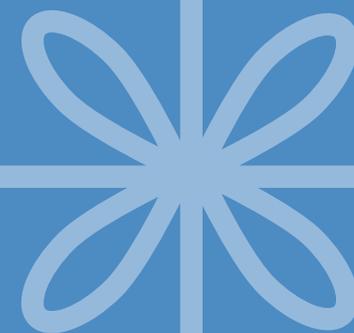
その都度なにがダメだったのか説明を行い、再度各地域の分別ルールの周知を行います。



事例⑤ 欠勤トラブル

実習生が嘘をついて休む、または体調不良での欠勤が増えてきているという相談がときどきあります。欠勤理由をしっかりとヒアリングし、日本での働き方や体調管理の指導を行います。

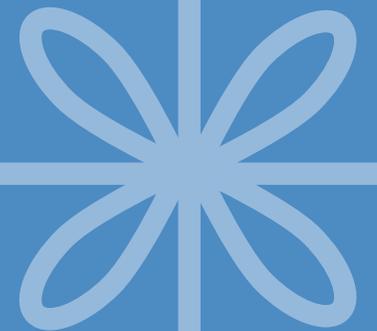
また無断欠勤等、本人に非があまりにもある場合は企業とも相談し懲罰等も検討し対応します。



事例⑥

日本語能力についての相談

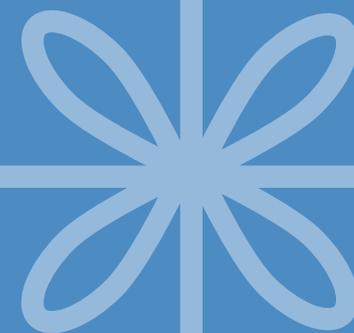
技能実習を行っていくうえで、日本語能力の向上は必須と考えています。実習生が入社後も日本語の勉強が出来るように、オンライン授業を開催しており、日本語能力試験のN1～N2の資格を持つベトナム人講師が基本からしっかり指導しています。また授業中は日本語だけではなく、生活面の相談等も受け付けて、管理の一面も兼ね備えています。



事例⑦

SNS等での詐欺について

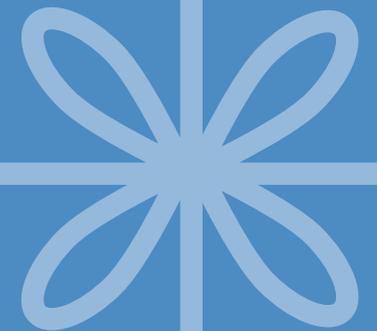
SNS上で個人間の物品の売買が盛んにおこなわれています。実際に、実習生がスマートフォンを購入しようとしていた所、個人の業者からパスポートや在留カードを要求され、不安になり相談があったので調査したところ、相手は詐欺業者でした。個人情報の取り扱いについて定期的に始動をすると共に組合でも独自にSNSのチェックを行い、詐欺遭わない為に怪しいアカウントや、売買情報の共有を行っています。



事例⑧

年金・健康保険・税金の相談

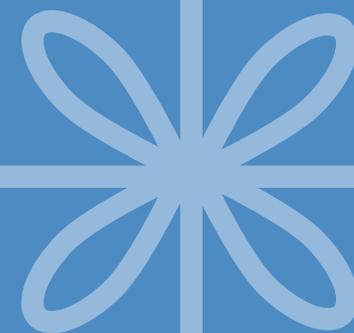
日本の年金や健康保険、税金等は実習生達にはなかなか理解が難しい仕組みです。事前に時間をかけて仕組みについて説明をしても、忘れていたり、新たな疑問等が浮かんでくるものです。本人達も都度、気になったタイミングに相談をしにきますのでその都度、本人達に母国語で説明等も行いますが、定期的に日本での年金・健康保険・税金に仕組み等の勉強会を開催したりしています。



事例⑨

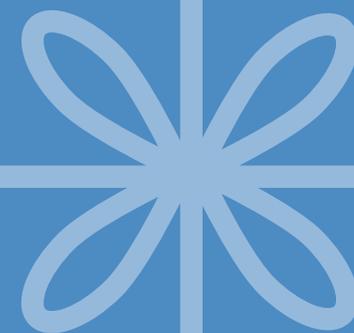
騒音トラブル

アパート等を借り上げて実習生の住居とする場合に起きやすいです。自宅でパーティ等を開いて大勢の友達と騒いでしまう事があります。異国の地でたまの休みに気兼ねなく接する事ができる友達と楽しくなって騒いでしまう気持ちも理解できますが、それらの行為が他人に迷惑をかけてしまっている事は事実なので、注意、指導を行います。場合によっては友達を自宅に呼ぶ事を一定期間禁止にする処置をとります。



事例⑩ 給与について

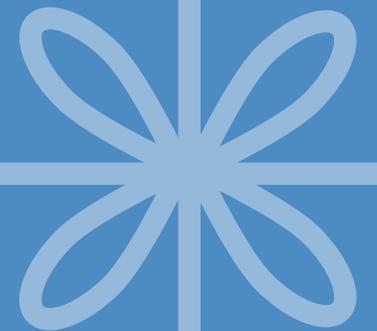
ある程度技能実習が進むと、実習生から給与UPしてほしいという声があがります。給与UPについては漠然と年次毎に上げるというよりも、企業様・実習生・組合とで具体的にどのような仕事ができるようになれば給与UPするのか等目標を定めるようにしています。技能実習生が頑張る事は当たり前ですが、頑張りやすい目標設定をし、評価しやすい環境をつくる事を大事にしています。



事例①①

実習生が失踪してしまった

失踪はあってはならないトラブルですが、現実として起こりうるトラブルです。特に日本で働く外国人が増え、様々な情報がSNSにでているため、気持ちが流されやすい環境があるのも事実です。我々としては失踪後にどういった末路になるのかの教育をするのはもちろん、企業様と協力して日々のコミュニケーションを重要視しています。失踪が発生してしまった原因をしっかりと検証し、再発防止に努めます。



事例①①

実習生が失踪してしまった

失踪はあってはならないトラブルですが、現実として起こりうるトラブルです。特に日本で働く外国人が増え、様々な情報がSNSにでているため、気持ちが流されやすい環境があるのも事実です。我々としては失踪後にどういった末路になるのかの教育をするのはもちろん、企業様と協力して日々のコミュニケーションを重要視しています。失踪が発生してしまった原因をしっかりと検証し、再発防止に努めます。

